

地域農業を活性化するために 何を考えて行動すべきかを学ぶ

平成30年2月23日(金) 10:20~16:10

申込締切：平成30年2月8日(木)

講師 株式会社農業技術通信社 代表取締役・月刊『農業経営者』編集長 昆 吉則
株式会社マイファーム 代表取締役 西辻 一真
カルビー株式会社 相談役・山形大学 客員教授 松尾 雅彦

農村のみならず日本社会全体の高齢化・少子化が急激に進んでおり、2年後には団塊世代が全員70代になります。消費が減退するとともに高齢農家の離農が急激に進みます。また、平成30年度からはコメの減反政策も見直されます。今後、長期的にコメ市況が下がっていくことは避けられず、さらに耕作放棄地も増えていくでしょう。このような環境の中、地域農業の活性化はどのように進めるべきかを学びます。



場 所

一般財団法人電源地域振興センター 会議室

対 象

電源地域の市町村・都道府県等の行政職員、各種団体、事業者、NPO、個人、電力会社等で電源地域の振興に関わっている方

定 員

約20名

参加費

10,000円/名

【お問い合わせ先】一般財団法人電源地域振興センター 地域振興部 振興業務課

TEL : (03)6372-7305 FAX : (03)6372-7301

E-mail : kensyuu@dengen.or.jp URL : <http://www2.dengen.or.jp>



昆吉則 株式会社農業技術通信社 代表取締役・月刊『農業経営』編集長

1949年生、農業関連出版編集社を経て、1984年農業技術通信社を創業、1993年日本初の農業ビジネス誌「農業経営者」を創刊。
2004年山形県農業担い手支援センター派遣専門家（現在）、2006年内閣府規制改革・民間開放推進会議農業WG専門委員、2010年内閣府行政刷新会議規制・制度改革分科会農業WG専門委員などを歴任。2009年には農業ビジネスプランコンテスト「A-1グランプリ」の発起人、実行委員長を務めた。

西辻一真 株式会社マイファーム 代表取締役

1982年福井県生まれ、2006年京都大学農学部資源生物科学科卒業。大学を卒業後、1年間の社会人経験を経て、幼少期に福井で見た休耕地をなんとかしたい！という思いから、「自産自消」の理念を掲げて株式会社マイファームを設立。
その後、体験農園、農業学校、流通販売、農家レストラン、農産物生産など、独自の観点から農業の多面性を活かした種々の事業を立ち上げる。2010年、戦後最年少で農林水産省政策審議委員に就任。2014年、内閣府国家戦略特区農業特区委員就任。2016年、総務省「ふるさとづくり大賞」優秀賞受賞。
将来の夢は世界中の人が農業（土に触っていること）をしている社会を創ること。



松尾雅彦 カルビー株式会社 相談役・山形大学 客員教授

カルビー株式会社 相談役、山形大学 客員教授、長野県 食の“地消地産”アドバイザー。NPO法人「日本で最も美しい村」連合副会長、一般社団法人スマート・テロワール協会会長。
1941年生まれ。慶應義塾大学法学部卒。
1967年カルビー株式会社入社。1992年同社社長就任。2006年同社相談役。
長野県 食の“地消地産”アドバイザー。山形大学客員教授。
2008年第41回食品産業功労賞 受賞。2016年第73回中国文化賞受賞。
著書に『スマート・テロワール 農村消滅論からの大転換』学芸出版社。



プログラム

2/23(金) 10:20~16:10 (昼休憩1時間)

講演1 「これからの水田農業をどうする？」

株式会社農業技術通信社 代表取締役 昆吉則 氏

講演2 「耕作放棄地の活用や新規就農者の育成への取り組み」

株式会社マイファーム 代表取締役 西辻一真 氏

講演3 「地域に根差した農村、地方から始める日本の再建」

カルビー株式会社 相談役・山形大学 客員教授 松尾雅彦 氏



- ・講師の都合等により、カリキュラムを変更することがあります。
- ・申込者が定員に達した場合、参加をお断りすることがあります。
- ・応募状況により本研修を中止または延期することがあります（研修の約2週間前までにご連絡します）。

お申込みについて

- 当財団のホームページ（「研修を受けたい」→「研修事業」→「お申し込み方法」を参照）、または必要事項をご記入のうえE-mail、FAXによりお申し込み下さい。
- 申込締切後、連絡責任者様宛に「研修参加決定のお知らせ」および「請求書」を送付いたします。